

とみや議会だより

第24号



第2回定例会概要P 2
一般質問P 6
委員会活動P13

▲交通の要衝「富谷ジャンクション」

2022年(令和4年) 8月1日発行

発行責任者/富谷市議会議長
編集/議会広報調査特別委員会

〒981-3392
宮城県富谷市富谷坂松田30番地
Tel.022-358-0622



～誰もが見やすく読みやすい市議会だよりを目指して～

UD FONT
by MORISAWA

ユニバーサルデザインフォント
を使用しています。

令和4年第2回定例会 一般会計補正予算

令和4年第2回定例会は、6月10日から21日までの12日間の会期で開かれました。物価高騰の影響を受けている市民の負担軽減と市内経済の活性化に対応するための割増商品券事業、食文化ストーリー創出・発信事業、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業等、2億7267万円を増額する一般会計補正予算などを審議しました。また、11人の議員が市政について一般質問を行い、活発な議論が繰り広げられました。



食文化ストーリー 創出・発信事業

文化庁の公募による食文化ストーリー創出・発信事業について、本市が応募した「宮城の大豆食文化」保護・継承プロジェクトが全国13団体の一つとして採択を受けました。

富谷と大豆食文化

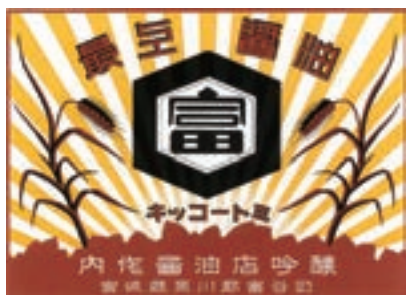
宮城の大豆食文化は、慶長6年（1601年）伊達政宗公が「御塩噌蔵」という日本初の味噌

工場を建てたことから始まりです。

富谷市では、江戸時代から内ヶ崎醤油店（亀甲富）、阿部八商店（亀甲玉）が街道沿いに軒を並べていましたが、平成に入り廃業により醤油づくりが途絶えました。

食文化ストーリーへの取り組み

大豆食文化の味噌・醤油、亀甲富の復活、文化



財登録を目指すことで、宮城の先人たちが育んできた、大豆の魅力と味を再認知し、未来の世代へと継承することを目標とします。

このためにまず、調査研究事業として、宮城県を代表する名産品の原料である「大豆」の歴史と食文化を掘り下げ、さまざまな食材として活用され、現代のニーズに沿ってきたのかを調査研究します。次に、保護継承事業としてイベントやワークショップを開催します。また、発信等事業として、食文化ストーリーの作成・映像化や、SNS等による情報発信を行います。

割増商品券事業

コロナ禍における原油価格や物価高騰の影響を受けている市民の負担軽減と市内経済の活性化に対応するために発行します。

概要

市内登録店舗で使える13,000円分の商品券を1セットとし10,000円で販売します

購入限度セット数

世帯毎に構成人数のセット数を上限に販売

購入例：4人世帯の場合 ⇒ 4セットまで購入可

販売場所

市内5カ所の郵便局等で検討中



▲ 令和2年実施のもの

●●● 主なつかいみち ●●●

- 割増商品券事業 1億3,500万円
- 食文化ストーリー創出・発信事業 825万円
- 周年事業会場設営イベント業務(NHKのど自慢) 497万円

- 新型コロナウイルスワクチン接種対策事業 6,945万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 1,722万円
- 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業 1,781万円

食文化ストーリー創出・発信

問 今後も継続的に進めていくのですか。

答 まずは、3年後を見据えて、今回の取組を通して、味噌・醤油の復活を目指します。

また、地域の活性化、地域の振興に資する、そういった取り組みを考えています。

さらに富谷産の大豆の消費拡大、商品化に向けて、一次産業の活性化にもつなげたいと考えています。

割増商品券

問 今回の事業では、世帯構成人数分まで購入可となり、大規模な事業となっております。その理由は。

答 原油高や物価高騰に対する、市民生活への支援が目的の大きな一つです。予算ベースで5億2000万円となり、大規模な経済効果と、さまざまな店舗への波及効果を

商品券取り扱い店舗における換金の流れは。

答 店舗で使用された商品券を郵便局へ持ち込んでいただき、計数の上、市へ請求書が回ってきます。郵便局では、月の前半と後半に分けて取りまとめて市へ報告いただきます。市はそれに基づき、振り込みの手続きを行います。換金されるまで、長くて1カ月弱の期間がかかる場合があります。

テレワークセンター整備

問 経済情勢を見ると資材が値上がりし、整備経費の追加が懸念されますが。

答 現在の経済状況は認識していますが、現時点で、経費の増額は想定していません。

問 運営方法など細部の検討は。

答 今年度、施設整備と併せて、しっかり考えます。

地域おこし協力隊

問 新たな地域おこし協力隊3人を、農業法人が受け入れることについて、現在の農業クリエーターと同じ活動ですか。

答 現在活動されている農業クリエーター同様、農業に特化した取組と、地域振興に係る商品化、地域貢献への取組、将来的には、農業後継者へとつながるよう取り組んでいきます。

放課後児童クラブ

問 指導員、職員の充足状況は。

答 指導員の不足は生じていません。

問 児童数が定員を超えている児童クラブはありますか。

答 若干定員を超えている児童クラブもありますが、指導員を増やして対応しています。

富谷幼稚園民営化

問 富谷幼稚園の定員と在籍者数は。

答 定員が90人、在籍者数は42人です。

問 幼稚園運営審議会で、市立幼稚園を民営化するよう答申を受けましたが進捗状況は。

答 現在、民営化について、内容の検討を行っています。

東北大会等 出場補助金

問 東北大会以上の大会への参加補助金見直しの内容は。



濃厚接触者への食糧等支給品



答 保護者負担の軽減を図るため、宿泊費、交通費等の値上げへの対応、キャンセル料、振込手数料、楽器の輸送費等の追加をしました。

コロナ感染等における食糧支援

問 市が実施する食糧支援の対象者は、感染者および濃厚接触者ですか。

答 市の支援対象者は、濃厚接触者のみです。なお、感染者に対する支援は県で実施しています。

問 市での支援状況は。

答 135世帯359人に対して支援を行いました。

第2回臨時会

一般会計においては、3月16日に発生した地震被害に伴う各公共施設の災害復旧に関する予算、新型コロナウイルス感染症対応に係る国の総合緊急対策として、住民税非課税世帯等や低所得の子育て世帯への給付金支給に要する所要額など、4億4500万円を補正予算に計上しました。

3月16日の地震被害における公共施設災害復旧

問 学校給食センターの被害状況は。

答 揚げ物、焼き物、蒸し物のラインが現在停止中ですが、そこを除き、5月9日から再開しています。

問 停止中のラインも含めた完全復旧の目途は。

答 夏休み期間中での復旧予定です。

問 被害の大きかった学校における、今後の復旧スケジュールは。

答 現在、専門業者による詳細調査と実施設計を進めています。成田中学校の4階も含め、夏休み明けから利用可能となるよう努めていきます。

●●● 主なつかいみち ●●●

- 令和3年度一般会計補正予算
 - 災害復旧費 1億1,282万円
- 令和4年度一般会計補正予算
 - 災害復旧費 2億3,150万円
 - 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 1億4,350万円
 - 低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 5,279万円

県における病院再編の誘致候補地を提示



5月27日の議員全員協議会において、市長より、県が進めている4病院再編の東北防災病院および宮城県立精神医療センターの合築整備における候補地として、明石台東土地区画整理事業地内の6haが示されました。県は、新たな拠点病院の整備と診療内容を含む、病院の規模などについて検討をし、今年度中の基本合意を目指すとしています。

第2回臨時会(5/27)・第2回定例会(6/10~6/21) 議案採決結果一覧

予
算
議案審査
一般質問
委員会活動

	議案	賛成	反対	議決結果	佐藤	菊池	村上	塩田	渡邊	藤原	畑山	金子	浅野	若生	長谷川	高橋	菅原	出川	安住	渡邊	浅野	青柳	提案者	
					浩崇	美穂	治	智明	清美	峻	和晴	透	武志	英俊	美	正俊	福治	博一	稔幸	俊一	直子	信義		
第2回臨時会	職員の給与に関する条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
	議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
	富谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
	令和4年度富谷市一般会計補正予算(第2号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
	専決処分の承認を求めることについて(富谷市税条例等の一部を改正する条例)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長
	専決処分の承認を求めることについて(富谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長
	専決処分の承認を求めることについて(富谷市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除等に関する条例の一部を改正する条例)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長
	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度富谷市一般会計補正予算(第16号))	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	提
	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第5号))	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第5号))	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度富谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号))	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度富谷市下水道事業会計補正予算(第3号))	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度富谷市水道事業会計補正予算(第4号))	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
第2回定例会	令和4年度富谷市一般会計補正予算(第3号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
	令和4年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
	令和4年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第1号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	
	令和4年度富谷市下水道事業会計補正予算(第1号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	提	
	令和4年度富谷市水道事業会計補正予算(第1号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案	
	富谷市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	17	0	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
富谷市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	17	0	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案	

○賛成 ×反対
※議長(青柳信義)は採決に加わりません。

市政を問う

一般質問

第2回定例会では11人の議員が質問に立ちました。各議員が行った一般質問の概要を7ページから12ページまで発言順に掲載しています。

文章については、会議録を基に議員自ら作成しています。

なお、一般質問についての詳細は議員にお尋ねください。

7P 菅原 福治 議員

- 市の企業誘致の意義と成田二期北用地の環境整備について
- 今後の効果的なワクチン接種の在り方と、ウィズコロナの本市の対応について

7P 菊池 美穂 議員

- 路面下空洞調査の実施を問う

8P 長谷川 る美 議員

- ヤングケアラーについて

8P 畑山 和晴 議員

- これからの部活動の在り方について
- 児童への自転車ヘルメット購入補助について

9P 渡邊 俊一 議員

- 児童・生徒の食育について問う

9P 出川 博一 議員

- 長い道のり ゼロカーボン戦略
- 富谷市複合施設について問う
- ラスパイレス指数 なぜ低いのか

10P 浅野 直子 議員

- 環境対策と熱中症予防について
- 地方創生臨時交付金活用について

10P 渡邊 清美 議員

- 介護保険について
- 障がい福祉の充実

11P 若生 英俊 議員

- 富谷市民図書館等複合施設整備の進捗を問う
- 本市の農業の将来像と市民農園の早期開園を問う

11P 安住 稔幸 議員

- デマンド交通の利便性の向上及び利用促進について
- 市民への健康等に関する施策の充実について

12P 藤原 峻 議員

- 子育て支援策の更なる強化を
- 富谷市2050年ゼロカーボン戦略の具体策は

このページでは議員が提出した一般質問通告書のとおり掲載しており、次ページ以降の見出しと異なる場合があります。

問 成田工業用地の整備はいつから

答 工区分けを実施し、事業の検証を

これまでの人口増加は、

計画的な宅地開発による
企業誘致でした。現状の
工業用地は順調に推移し
ており、早々に完売が予
想される事から、成田二
期北工業用地の整備を急
がなければなりません。

問 企業誘致の滞りは許
されない中、本市の企業
誘致戦略は。

答 先ず県との連携と、
政令市仙台市に隣接する
優位性および各種立地優
遇制度の運用です。

問 成田二期北用地は、
オーダーメイド方式に
よって造成が滞っており、
用地分割見直し等、今後
の整備計画は。

答 環境アセス等の課題
を抽出し全体面積は変え
ず、事業の工区分けを実
施し、事業促進に向けて
検証を実施します。

問 県と連携したサプラ
イチエーの考えは。

答 県との連携を第一に
考え情報を収集し、情報
交換に取組んでいます。



菅原 福治 議員

問 用地の新ネーミング
と、北部道路の成田スマー
トインターの考え方は。

答 ネーミングは、地権
者にお伝えし検討します。

問 県と連携したサプラ
イチエーの考えは。

答 県との連携を第一に
考え情報を収集し、情報
交換に取組んでいます。

問 日常を取り戻すコロナ対応は

答 社会活動はウイルスと共生が前提

コロナウイルスと戦っ
て3年目、生活や暮らし
を変えるウィズコロナの
対応は。

問 学校の登下校、体育
の時間等々の、マスク不
着用の徹底は。

答 夏場を迎え
るにあたり、熱
中症予防の観点

問 飲食店における人数
行動制限の考え方は。

答 飲食における人数制
限は緩和されており、感
染対策を講じた上で、飲
食をお願いします。

▲ 成田二期北工業用地

※オーダーメイド方式
区画の形状や面積等、企業等の意向を踏まえて、
利用しやすい土地造成を行なつ。

問 路面下空洞調査を実施するべき

答 必要な調査と認識、今後経費等検討

国交省の調査では、全
国で年間9000件以上
の道路陥没が起きていま
す。道路陥没は自然災害
に起因することも多く、
近年多発する地震や台風、
ゲリラ豪雨により、目に見
えない地中の劣化損傷
が何倍にも加速していま
す。災害時に物資を運ぶ
緊急輸送道路をはじめ、
病院や学校、福祉施設等
の周辺道路の閉塞防止、
安全確保は、重要課題で
す。高解像度センサー搭
載車両等による先進技術

を活用し、路面下空洞調
査を行うべきと考えます。

問 予防保全型のインフ
ラ点検の必要性は。

答 事故の発生を未然に
防止し、インフラの延命
化を図る観点からも大変
重要と認識しています。

問 路面下に潜む危険性
を事前に把握し適切な対
策を講じるため、路面下
空洞調査を実施するべき
と考えますが、見解は。

答 今後、調査に要する
経費や県内各市町村の実
施状況などを調査し、対
応を検討します。

問 市内には、病院、学
校、各福祉施設が散在し、
避難所にもなっています。
市独自として重要路線の
指定を行うべきでは。

答 今後、関係各課と連
携を図りながら、新たな
路線の指定を検討します。



菊池 美穂 議員

問 建設後50年を経過し
た橋梁は10年後に約32%、
20年後には約65%に達し、
橋梁の高齢化が急激に進
みます。橋梁床版抜け落
ちの防止に先進技術を活
用した調査を実施すべき
では。

答 橋梁の損傷の状況に
応じて、同技術を活用し
た実施を検討します。

問 地下埋設物の位置確
認、配置管理を行うため、
地上・地下情報を結合し
3Dマップ化し、「地下
デジタル化」を進めては。
道路管理上大変重要
なことと認識しています。

答 道路管理上大変重要
なことと認識しています。

問 市内には、病院、学
校、各福祉施設が散在し、
避難所にもなっています。
市独自として重要路線の
指定を行うべきでは。

答 今後、関係各課と連
携を図りながら、新たな
路線の指定を検討します。

問 市内には、病院、学
校、各福祉施設が散在し、
避難所にもなっています。
市独自として重要路線の
指定を行うべきでは。

答 今後、関係各課と連
携を図りながら、新たな
路線の指定を検討します。



▲ 道路陥没（北海道三笠市）

問 ヤングケアラーについて

答 しつかりと取り組んでいきます

ヤングケアラーとは、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受けている18歳未満の子供を言い、負担が大き過ぎる場合、心身の発達や人間関係、社会生活、家庭生活、人生設計などに大きな影響を及ぼすと言われています。横断的かつ総合的に課題解決のために取り組んでいくことが重要と考え、以下質問します。

問 本市におけるヤングケアラーの実態と、このことに対する認識は。

答 ヤングケアラーと思われる児童数は14人で多方面からの支援が必要となるため、関係機関と連携を図りながら支援を行っていく必要があると認識しています。

問 ヤングケアラー本人や保護者に対する認識を促すための普及啓発は。

答 広報等や、国のポスターの活用、子供たちが目にしやすいSNSによる相談先の周知などです。

問 ヤングケアラーに対する学校の認知および把握について。

答 各学校に国や県等の通知等を周知し、校長会を通じて教職員の理解促進と併せて、日々の観察と把握に努めています。



長谷川 美 議員

問 ヤングケアラー支援の庁内横断的な連携は。

答 子育て支援課や教育委員会、高齢者や障害者、生活困窮者支援担当等の関係機関で、情報の共有および連携を図り、ヤングケアラーの把握に努め、支援を行ってきました。今後、他機関、多職種による全庁横断的にきめ細やかな支援を行います。

問 本市でのヤングケアラー実態調査の実施は。

答 今年度宮城県において仙台市を除く全ての小学5年、中学2年、高校2年生を対象に調査を実施する予定です。

問 相談体制の整備は。

答 SNSを活用して、ホームページに問合せると、リンク先に相談窓口を準備しています。

問 これからの部活動の在り方を問う

答 一歩一歩確実に進めていきます

スポーツ庁の有識者会議において、中学校の部活動の地域移行を2023年度から2025年度の3年間で達成するとの目標を盛り込んだ提言案が示されました。

問 スポーツ庁が示した地域移行に関して、本市の考えは。

答 本市でも部活動の地域移行は、生徒が生涯にわたって豊かにスポーツに親しむための環境づくり、教職員の働き方改革、また、生徒数減少が想定



される中での部活動維持の視点から必要な改革と

考え、情報収集してまいります。現段階では、提言の内容を市校長会や市内各スポーツ関係団体と情報共有を進めています。

学校同士の運営や部活動のクラブチーム化につ

問 今後の動向を注視し、検討します

答 入学祝い品としてヘルメットを贈ることも一つの考えだと思いますが

いても、スポーツ庁が提言を受けて、運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインを改定する予定であり、今後、運動部活動の地域移行について議論する中で検討していきます。

問 入学祝い品としてヘルメットを贈ることも一つの考えだと思いますが

問 児童のヘルメット購入補助を問う

答 今後の動向を注視し、検討します

問 全国でも多くの自治体でヘルメット購入補助を行っています。本市では検討したことはありませんか。

答 宮城県では昨年4月に自転車安全条例を制定していますので、今後の動向を注視しながら本市としての補助制度の有効性を検討していきます。

答 小学校低学年のうちには自転車を利用する児童が少なくないこと、また、中には自転車には乗れないという児童もいることから、当面は現在の黄色い帽子を入学祝い品として継続していきます。

問 児童、生徒の食育について問う

答 体験を積みませるように努めます

食育は、生きる上での

基本であり、知育、徳育

および体育の基本となるべきもので、特に子ども

たちに対する食育は、心身の成長および人格の形成に大きな影響を及ぼし、

生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性をはぐくんでいく基礎となるものと、食育基

本法に明記されており、食育基本法第五条に、食育は、子どもの教育、保

育等を行う者にあつては、教育、保育等における食育の重要性を十分自覚し

積極的に子どもの食育の

推進に関する活動に取り

組まなければならない。

第六条の食育は、広く国民が家庭、学校、保育所、

地域、その他のあらゆる機会と、あらゆる場所を利用して、食料の生産か

ら、消費等に至るまでの食に関するさまざまな体験活動を深めることを旨

として、行われなければならない

ならないと定められており、食育基本法に基づき

学校教育において、質の高い内容にて、食育推進

を図る必要があると考え

ますし、子ども達の食の

好き嫌いをなくす対策も

講じて行かなければ

なりません

ので、その観点から捉えて、質問



渡邊 俊一 議員

問 食育基本法に基づき

学校教育として、食育推

進に関する施策と基本的な取組を質問します。

答 各教科で学年別の活

動を示し、年間指導計画を立案し、各学校が食育

に関する指導目標をそれぞれ設定しています。

問 学校教育においての食育推進会議を行なっていますか。

答 外部人材を含めた学

校保健委員会を組織し、多角的な協議を行って、

会議を行なっています。

問 児童、生徒の食べ物の好き嫌いの対策をどのように考えていますか。

答 学校教育では、食事

の重要性、生産者への感謝の心や、命の大切さを

意識を醸成、育成し、嫌

いなものも進んで食べる意欲を深めていきます。

問 複合施設 7年7月開館できるか

答 基本方針スケジュール遵守に努力

昨年6月発行の富谷市

複合施設整備基本方針に

おける事業手法の最適解

は、「施設設備は従来方式またはデザインビルド方式を採用し、直営であ

る図書館以外の施設に、指定管理者制度を導入す

ることが相対的に有利な手段である」と示されています。

問 図書館等複合施設整備

資料を基に、最適解と

されていた従来方式とデザインビルド方式を比較

し、公的外部資金への対応可能性や設計の柔軟性

等から、従来手法の優位性が高く望ましい事業手法と決定しました。

問 複合施設整備基本方針の整備スケジュールに

は、基本設計は今年4月

から9月、実施設計は令和4年10月から令和5年

5月、供用開始は令和7

年7月の計画となつていますが、仕様書の履行期限は令和5年3月

17日となつており、計画より半年遅れることにな

りますが。

答 基本方針策定時のスケジュールからの遅れはありますが、スケジュールを遵守すべく開館に向

けて今後も努力します。

問 基本設計は今年9月

から来年3月と半年延び

ていますが、最後の供用開始日を令和7年7月で整備できるのですか。

答 延びる要因もありますが、当初の予定よりも

短縮できる可能性もあるので現時点では、基本方針時のスケジュールを遵守すべく努力するという

ことでやっています。

問 基本設計が固まる前、実施設計に入る前に、市民向けの説明会等で市民の意見の聴取が必要と思

われますが、いつごろを

予定していますか。

答 実施するかも含めて設計者を決める中で検討してまいります。



出川 博一 議員



問 マイボトル推進と熱中症対策は

答 予防と環境対策を考慮検討します

二酸化炭素（CO₂）

削減に向けた取り組みでは、プラスチックごみ削減で身近に一人一人が環境保護のためにマイボトルの普及と、熱中症対策として水道直結の冷水給水器の設置を求め質問します。

イボトル推進は。

答 意義や方向性について理解しています。導入経費や維持管理面を精査

しながら、熱中症予防対策と環境対策の側面を考慮し、検討します。



浅野 直子 議員

問 地方創生臨時交付金活用について

答 効果的な事業内容を検討します

新型コロナウイルス感

問 みやぎ環境交付金事業では給水器等の設置が可能ですが本市の取組は

答 優先度を勘案しながら検討します。

問 熱中症対策に公共施設等に給水スポットとマ

染症の長期化、本年2月

末以降のウクライナ危機により、原材料価格の値上がりがあり、4月には輸入小麦、その後もさまざまな品物が値上がりしました。学校給食の食料調達

と予算のバランスは。

答 影響はあります。学校給食摂取基準に即した食材や献立を工夫し、コロナ禍での感染拡大以降は、緊急的措置に相応の一般財源を充当しながら

栄養バランスに配慮した提供を行っています。

問 地元産食材拡充は。

答 J・Aみやぎと協議を進めています。

また、市民生活をより

一層支援できる交付金活用を求め、質問します。

問 地方創生臨時交付金の活用については。

答 今年度、2億600万円以内で応援クーポン

問 学校給食の現下の状況、食材の調達や食料費

や割増商品券事業等です。

問 介護保険料の細分化の検討は

答 次年度策定します

2025年には、団塊の世代が75歳を迎え、国民の4人に1人が後期高齢者という超高齢化社会になります。

介護保険料の負担増、

高齢者の居住の確保が難しくなっています。

問 第9期介護保険計画での、介護保険料の細分化の考えは。

答 第9期事業計画の策定の中で、3年間の事業費の財源バランスも鑑み、介護保険料の算定を次年度策定します。

問 高齢者の住居の確保の対策が必要では。

答 地域包括支援センターや関係部署が連携し、居住に関する情報や入居

に関する相談に努めています。

問 ヤングケアラーの相談体制は

答 相談先等体制づくりを進めます

障がいがあっても、市内に住み続けられる環境整備が必要です。

市内でのグループホームの入居希望が多く聞かれており対策が必要です。

全国的に問題になっているヤングケアラーへの支援が急務です。

問 市内へのグループホームの増設の考えは。

答 増設や充実の指定権限は県にあります。市として開所を検討している法人

へ積極的な情報



渡邊 清美 議員

提供を行っています。

問 医療的ケアを必要としている方へのグループホームの考えは。

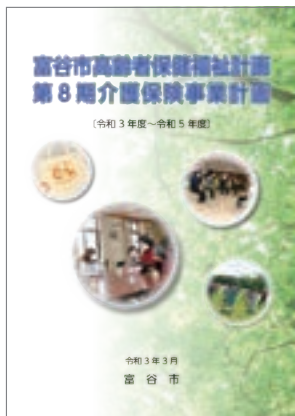
答 県の障がい者自立支援協議会と連携を図りつつ、どのような支援が可能なのか、調査研究を続けます。

問 ヤングケアラーの相談しやすい体制づくりが必要では。

答 広報等を通じて市民への啓発活動に取り組んでおり、子ども達が目にしやすいSNSを活用した相談先の周知等、体制づくりを進めます。



▲ ボトル対応「冷水給水器」



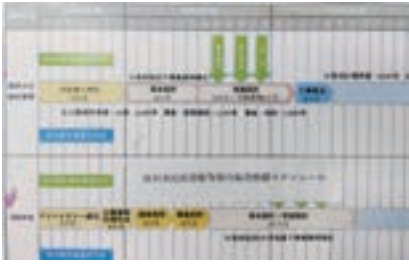
富谷市高齢者保健福祉計画
第8期介護保険事業計画
(令和3年度～令和5年度)
令和3年3月
富 谷 市

問 屋内遊戯施設と大亀山の見直しは

答 大亀山については積極的に活用

複合施設整備にあたり、を要する事業が予定され供用開始予定の令和7年・2025年から2045年までの今後20年先の社会環境の激変を想定すれば、国民の数や生産年齢人口が激減し、将来を担う子供の人口比率が50年近くも減少している事実を直視する必要があります。

本市においては、土地の無償貸与を提示しての病院誘致に伴う土地購入や仙台市地下鉄の本市への延伸など、巨額の財源



▲ 富谷市民図書館等複合施設整備スケジュール



若生 英俊 議員

最大の課題です。インフラ整備や管理に充てられる財源には限りがあることから、自治体はむやみにインフラを新設するのではなく、維持管理に目を向けるべきだ、との指摘もあります。

問 資材費高騰の中、事業費の明示時期は。

問 本市の農業の現状は

答 水田農業は大変厳しい現状

本市の中核であるコメ

農家は、コメ買取価格、(概算金)が下がり、農機具、肥料、燃料・資材費などの価格は高騰するなど苦境に立っています。問 営農継続のため、大規模営農者への支援が必

答 これまでの想定額で提案いただくことを想定しています。

問 指定管理によるコスト削減額は。

答 基本方針策定時の試算を現時点の目安としています。

問 児童屋内遊戯施設と大亀山公園の見直しは。

答 大亀山については活用を積極的に取り組みます。

要では。

答 支援強化を図ります。

問 市民農園の検討状況は。

答 実施に向けて検討しています。

問 リトルベビーハンドブックの発行を

答 県で作成予定であり活用したい

赤ちゃんの体重が2500gに満たないで生まれてくる低出生体重児がいます。また、1500g未満のお子さんもいます。不安で落ち込んでしまうケースも少なくない

と聞きます。今、こうした中、全国で広がっているのが「リトルベビーハンドブック」の配布です。問 本市として、低出生体重児へのリトルベビーハンドブックの発行は。

答 今年度、県で作成予定です。本市としても、積極的に活用したいと考えています。



問 母子手帳アプリの導入は。

答 必要で大切な情報をアプリで手軽に受け取れますので、さらに検討を進めていきます。

問 3歳児健診での視覚検査機器の導入は。

答 検査機器導入に向けた検証を、6月末の3歳児健診時に行う予定です。

問 マイナポータルを活用とマイナンバーカード健康保険証への取組は。

答 検討していきます。

問 デマンド交通の利便性の向上を

答 利用促進への検討を継続します

問 利便性の向上および利用促進は。

答 利用者ニーズに柔軟に対応し、運行地域の拡充や増便など、

利用促進への検討を継続します。

問 利用者および利用地域でのアンケート調査は。

答 今年10月にアンケート調査の実施予定です。



安住 稔幸 議員

問 子育て支援の更なる強化を

答 支援策の推進に努めます

問 思い切った予算措置が必要では。

答 将来を見据えながら子育て支援策の推進に努力します。

問 出産祝い金、赤ちゃん用品支給事業の実施は。

答 まずは、子育て世帯によりそう支援となるよう、育児用品支給について先行自治体の実施状況等の調査研究を進めます。保護者の意見を伺いながら検討します。

問 子ども医療費の一部負担を無くすべきでは。

答 今後の医療費の動向や本市全体の事業の優先度を考慮し検討します。一部負担をしている自治体も少なくなつてきています。検討を前に進める必要があるのでは。

問 財政負担などを考慮しながら検討しています。

答 財政負担などを考慮しながら検討しています。

問 中学校の給食を無料にしては。また、市の予算を増やし、給食を充実させる考えは。

答 学校給食法に食材費の保護者負担が明記されるので、保護者負担が明記されることを参考と検討します。

問 再エネ・省エネの専門家の配置が必要では。

答 業務内容を精査し、検討を進めます。

問 リフォーム助成など家庭部門への設備導入補

助の考えは。

答 実現方策の調査結果を参考に検討します。

助の考えは。

問 ゼロカーボン戦略の具体策は

実現方策策定を進めています

問 再エネ・省エネの専門家の配置が必要では。

業務内容を精査し、検討を進めます。

問 リフォーム助成など家庭部門への設備導入補

助の考えは。

助の考えは。



藤原 峻 議員

ており、小学校、中学校3億2000万円以上の食材費の約97%を給食費で賄っており、これまで通りに実施します。

問 多子世帯の無料化は。

答 難しいところもありますが、内部で検討する必要があります。

問 不育症の検査への独自拡充の考えは。

答 今後、県や専門医などからの助言、先行自治体の実施状況など調査研究します。

請願と陳情の提出方法

市民のみなさんは、市が行うことに関して意見や要望がある場合、請願書や陳情書を提出することができます。

●請願書

請願書を提出する場合は、市議会議員の紹介が必要になります。請願書が提出されると、本会議で議長が所管事項に該当する委員会へ付託し、委員会で審査した後、本会議で採択か不採択、または保留を決定します。その結果は、請願者に通知されます。

また、採択した請願について議会が認めた場合は、執行機関ほか関係機関に処理の経過と結果の報告を求めることになります。

●陳情書

陳情書を提出する場合は、市議会議員の紹介は不要です。陳情書は議員に配付されます。

請願書・陳情書について、詳しくは富谷市議会HPをご覧ください。

陳 情 書

●女性トイレの維持及びその安心安全の確保について陳情申し上げます

女性スペースを守る会

—LGBT法案における『性自認』

に対し慎重な議論を求める会—

共同代表 飯野香里 井上恵子

永田マル 山田響子

●沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情

辺野古を止める！全国基地引き取り

緊急連絡会

代表 漆山ひとみ

全て議員配付となりました。

よりよいまちづくりのために

調査 しました

(3月～5月実施)

各委員会の説明

総務常任委員会…市の財政、市税、防災、まちづくり、環境衛生等について調査や審査をします。

教育民生常任委員会…教育、子育て、福祉、健康保険、介護保険等について調査や審査をします。

産業建設常任委員会…経済振興、道路、河川、都市整備、上下水道等について調査や審査をします。

一時避難所の開設・運営について 地域毎の防災訓練等の 実施が重要

調査先：防災安全課

◎調査日 5月13日

本市は、一時避難所の開設・運営のポイント（自主防災組織・町内会編）を作成し、公表しています。

災害発生時に一時避難所の開設・運営は、市民（自助）・地域（共助）だけで完結するには困難と考えます。再度、内容を

精査して、市民（自助）・地域（共助）・行政（公助）の在り方の検討を求めます。

地域により災害発生時の対応は異なると思われるので、地域毎に防災訓練、避難訓練を実施する事が重要であり、行政の積極的な関わりで、市

民（自助）・地域（共助）が十分に機能すると考えます。

今後も本ポイントを市民に周知し、いつ災害が発生しても対応できる自主防災組織・町内会の体制づくりへの支援、また、継続的な訓練の実施を求めます。

総務常任委員会



教育民生常任委員会

第8期介護保険事業計画の
実施状況について
介護人材の確保や介護予防事業
のさらなる充実を調査先：長寿福祉課
保健福祉総合支援センター

◎調査日 4月21日

令和4年3月末時点の介護給付費準備基金は、約5.8億円の見込みです。介護給付費準備基金は、月平均介護給付費の2〜3カ月程度を保有していることが望ましいとされており、ほぼ適正な水準と判断されます。75歳以上の後期高齢者

は、要介護認定者の割合や増加率が高くなるといわれています。2025年には全ての団塊の世代が75歳以上になり、単に高齢者が増えるだけでなく、介護が必要な高齢者の増加が想定されます。

第9期介護保険事業計画策定にあたっては、介護人材の確保や介護予防・日常生活支援総合事業の体制強化、介護を必要とする高齢者入居施設等のさらなる整備、社会問題となっているヤングケアラー問題への対応のほか、家族の介護負担軽減と心理的サポートのさらなる充実が期待されます。

産業建設常任委員会

◎調査日 5月12日
農業は高齢化、後継者不足、主食の多様化による消費低迷、米価の下落、耕作放棄地の増加等、多くの課題を抱えています。本市においても、今年度米の作付面積は5割を下回っており、過去の農業政策は評価しますが、これからは、国の強いリーダーシップにおいて、農

業に活力を取り戻す事が求められます。その中でも、本市は比較的他市町村に比べ、手厚い補助事業を展開しています。転作については方向性を明確にし、飼料米、大豆、野菜等、多品種を栽培し、収益に繋がる6次化商品等、付加価値づくりが必要です。

また、農業法人については、順調に推移していますが、今後は地域農業の課題を解決しながら、中心経営体として前に進めなければなりません。今後は、食料の自給政策について国、県に強く要望する事を求めます。

市内の農業生産推進策の
取組みについて
転作農業の将来方向を明確に
示し、農業に活力を

調査先：農林振興課



議員全員協議会を開催しました

令和4年5月19日

- (1) 提出予定議案等に関する案件
- ① 令和4年度富谷市一般会計補正予算(第2号)
 - ② 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度富谷市一般会計補正予算(第16号))
 - ③ 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第5号))
 - ④ 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第5号))
 - ⑤ 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度富谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号))
 - ⑥ 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度富谷市下水道事業会計補正予算(第3号))
 - ⑦ 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度富谷市水道事業会計補正予算(第4号))
- (2) その他
- ① 布マスクの配布について
 - ② 富谷市議会申合せ事項の配布について
 - ③ 一般質問時間について
 - ④ 県外視察関係について
 - ⑤ 執行部答弁書について

令和4年5月27日

報告案件
(1) 宮城県内における4病院の再編に関することについて

令和4年6月3日

- (1) 提出予定議案等に関する案件
- ① 令和4年度富谷市一般会計補正予算(第3号)
 - ② 令和4年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
 - ③ 令和4年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第1号)
 - ④ 令和4年度富谷市下水道事業会計補正予算(第1号)
 - ⑤ 令和4年度富谷市水道事業会計補正予算(第1号)
 - ⑥ 富谷市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
 - ⑦ 富谷市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- (2) 提出予定議案以外で説明を要する案件
- ① 富谷市下水道事業経営戦略
 - ② 富谷市社会教育施設長寿命化計画について
 - ③ 富谷市民図書館等複合施設整備に係る事業手法について
- (3) その他

固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員会委員の候補者として、市長から意見を求められ、全会一致で同意しました。

固定資産評価審査委員会委員に

平間 時子さん(鷹乃杜)
眞山 信一さん(富谷)

議会活性化調査特別委員会

市民に信頼され、開かれた議会、市民の負託に応えられる議会を目指し、調査をします。

5月19日

議会活性化調査特別委員会

- ・ 議会報告会について
- ・ 災害行動マニュアルの確認について
- ・ その他

6月3日

議会活性化調査小委員会

- ・ 災害行動マニュアルの確認について
- ・ その他
- ・ タブレットセミナーの開催について

6月16日

議会活性化調査特別委員会

- ・ 議会報告会について
- ・ 災害行動マニュアルの確認について
- ・ その他

富谷市議会録画配信URL

<http://www.tomiya-city.stream.jfit.co.jp/>

富谷市議会インターネット

検索



次回の定例会は
9月上旬開会予定です。

詳しくは議会事務局へ
お問い合わせください。

TEL 022-358-0622



未来へはばだけ とみやっ子 らびっと保育室



らびっと保育室は、富谷市から認可を受け、保育室を開いて11年、自宅一階で、生後6か月から2歳児までのお子さんをお預かりしています。少人数なので、ひとり一人に合ったきめ細やかな保育を行うことができます。

近隣には、自然豊かな公園があります。春は満開の桜の下で、おやつを食べたり、秋は、どんぐりやまきまきつぼつくりを拾ったりと



四季折々の自然に触れながら遊んでいます。お誕生会や季節の行事も楽しんでいきます。異年齢児と一緒に過ごす経験を積み重ねることで、「がんばれ、だいじょうぶ」という言葉が自然に聞かれるなど、思いやる心も育っています。

以前「ただいま」と保育室にきたり、「いつてきます」と帰るお子さんがいました。「第一の家」のように安心して過ごせる保育室であるよう、これから子ども達の気持ちに寄り添いながら過ごしていきたいと思えます。

<表紙紹介>

富谷ジャンクション

東北道の富谷JCTから、北は三陸道で青森県八戸市に、南は常磐道で埼玉県三郷市へとつながる、交通の大動脈の要衝となっています。

次の世代に引き継ぐ

安藤 昭さん(西成田)

富谷市消防団は3つの分団と16の班で構成されています。私は第3分団の西成田班で団員として活動しています。消防団の行事や活動については、市のHP等を確認して戴きますと幸いです。

みんなの広場



今まで消防団員として活動してきた中で特に忘れられない出来事は2016年7月24日富谷町(当時)・公益財団宮城県消防協会の主催により行われた「第49回宮城県操法大会」です。沢山の協力の協力によってポンプ車操法の一員として出場することができました。

「富谷町で県大会優勝」、「富谷市で全国大会」を目標に仲間達と日々の辛く厳しい練習をしてきました。途中からは学生時代の部活動のようでした。皆、自信を持って臨みましたが目標には届きませんでした。しかしながら、自分達がやってきたことはここで終わりではなく学んできた事を次の世代に引き継いでいくことが大切だと思います。それまで消防団は辞められそうにないです。

編集後記

今年は早々に梅雨が明け、例年になく猛烈な暑さが続いております。

ようやくコロナウイルスのピークを過ぎて、景気回復の兆しが見えて来た矢先に、コロナウイルス第7波の予兆、電力・ガソリン・食品等の高騰、

節電要請等々、不確実な状況が続いております。ここは皆で知恵をしぼり、この難局を乗り切りましょう。

これから

「夏本番です」

まだ、まだ、暑い日が続きますので、我慢せず無理なく、エアコンを上手に活用し、体調を崩さぬようご自愛下さい。

広報委員 菅原 福治